



カタカタ通信

第236号

2026年7月6日

「赤見台中学校 職場体験」

6月23日から3日間、中学生の職場体験がありました。短い間でしたが、コウノトリや天空の里について学びながら、元気に活動してくれました。その一部をご紹介します。



目隠しを外してご対面

無事にヒナが巣立ちを迎え、日中はほとんど巣台に戻らなくなったので、少しずつ目隠しを外すことに。休館日だったので、来館者のみなさんより一足早く、目隠しを外したガラスでご対面です。静かに観察してくれたこともあり、コウノトリも落ち着いた様子でした。



エサのドジョウの準備中



カウントダウンの掲示の飾り付けも



レジンでグッズ作成も体験



給餌後に採食の様子をじっくり観察



用水路や施設周辺で採取したものを…



顕微鏡で観察

コウノトリにパイプから給餌をした後は、食べる様子の観察の時間を設けました。ガラスに張り付くようにして、4羽の様子をじっくり観察してくれていた姿が印象的でした。今回の経験を今後もどこかで思い出してくれたら嬉しいです。

職場体験のまとめとして、3人で協力して、カタカタ通信をつくってもらいました。ぜひご覧ください。

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター

コウノトリ

毎週月曜日更新



カタカタ通信

番外編

「初めての職場体験

」

2026年6月25日

僕たちは、この職場体験で、おどろいたことが3つあります。

1つ目は、コウノトリのひなについてです。コウノトリのひなは、思っていたよりも成長が早く、約2ヶ月で親とほぼ同じ大きさにならなくてもおどろきました。

2つ目は、コウノトリのエサについてです。コウノトリは、魚類や虫類、両生類などの様々な種類の生き物を食べます。特に、ヘビやサズなどの大きな生き物を丸のみするのはとてもすごいと思いました。

3つ目は、放鳥施設が全国に4か所しかないということでした。しかも市で運営しているのは、鴻巣市を含めて、2か所しかないのです。このしせつの大切さがとても分かりました。

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター

学校名：赤見台中学校

名前：松本、齋藤、矢野

次に楽しかったことです。楽しかったことは2つあります。

1つ目は、エサやりの準備です。ドジョウをつかまったり、ワカサギや、アジの量を測るのはとても楽しかったです。

2つ目は、コウトリがエサを食べている様子を見たことです。コウトリには、好きな物、きらいなものがあり、親は、ワカサギを好んで食べ、アジを好まず、ひなに食べさせていたりしていたところから人間と同じように好ききらいがあってとても面白かったです。また、大きい魚があつたが、ちょっとほぐして食べていて、これも人間に似ていると思いました。

コウトリ野生復帰センターにはじめてきて、身近な存在のコウトリの歴史や、食べる物、生活について良く知れました。

また、職場のみなさんがとても親切に教えてくれ、とても貴重な3日間になりました。この3日間の経験を生かして、これからの生活を送ってまいります。

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター

学校名: 赤見台中学校

名前: 松本、齋藤、矢野